

平成二十七年 度 新翔高校文化祭 七海祭

Be Together as One ~魅せる七海祭~

平成 27 年度新翔高校文化祭「七海祭」が 11 月 20 日（金）、21（土）両日に渡り本校にて盛大に開催されました。本年度で 41 回目を迎えた伝統の七海祭、今年度の全体テーマはクラスや学校の「まとまり」を意識して設定された「Be Together as One ~魅せる七海祭~」でした。

クラスでの展示制作、ステージでのダンスやパフォーマンス、食物バザー、クラブ

での創作作品展示やイベントなど様々な形で協力しあいながら「いかに魅せるか」というテーマに工夫して取り組んだ文化祭。シンガーソングライター丸石輝正さんのミニコンサート、全日本ロボットフェスティバル地区予選大会なども開催され、盛りだくさんで充実した秋の祭典となりました。審査結果も踏まえ画像で二日間を振り返ります。



1-2 デジタルモザイクアート「五郎丸?」

職員展、美術科・島田先生による大作画。

建設技術科による「川原家」復元

礼法室での茶道部「茶会」

おなじみ商業科「新翔マーケット」

2-1 展示部門 2-1「ミニオンズ」完成度ピカイチ。

開会式～ステージ発表

初日の開会式では永石校長先生、文化祭実行委員長 2 年池尻君（生徒会長）の挨拶に続いてまず生徒会企画動画が上映されました。各クラスの文化祭前の制作の追い込みの様子や代表者のインタビューなどがメイキングビデオ風に紹介されると文化祭スタートの気運もいやが上にも高まりました。

続くステージ発表の部では 3 年生 4 クラスと 2 年生 2 クラス計 6 クラスがダンスパフォーマンスやスクリーン上の動画等を巧みに織り込んだアイデア豊かな発表を行いました。各パートの切れ

のあるユニットダンスから「ええじゃないか!」のかけ声一発、一気にクライマックスとしてクラスのまとまりに高め体現した 3 年 3 組がステージの部「最優秀賞」を受賞しました。

開会式で挨拶する文化祭実行委員長池尻君。生徒会ビデオも渾身の編集。

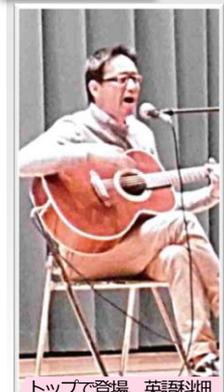


3-4 名作「美女と野獣」を大胆にアレンジした 3-4。

3-2 は未成年の主張風映像から生ステージへ!

3-3 ユニットと全体の完成度がトータルに高かった「青春ダンスコメディ 3-3」。

3-1 演出に工夫を凝らしエネルギーにステージを展開した 3-1。



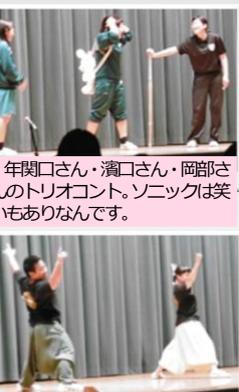
トップで登場、英語辞痴柳上先生。オアシスの「Don't Look Back in Anger」弾き語り。



2 年小野 司君はコブクロの名曲「赤い糸」を豊かな声量で力強く歌いました!



繊細なボーカルと流れるようなピアノで体育館を独自の世界に引き込んだ 2 年林 裕弥君。



3 年関口さん・濱口さん・岡部さんのトリオコント。ソニックは笑いもありません。

3 年西下さんと 2 年大江君によるよさこい節。余裕のノリとキレで創作踊りの魅力を堪能。

新翔ソニック

午後からの新翔名物「新翔ソニック」(有志によるステージパフォーマンス)では、事前の厳正な審査をクリアした 9 組(生徒 8 組、教員 1 組)が颯爽と登場。ギター弾き語り、独唱、ピアノソロ演奏、ダンス、コントなどでそれぞれのタレントとスキルを遺憾なく発揮しました。「**能ある鷹たちがキラリと見せた爪**」にびっくりするやらほれほれするやら! 実にバラエティに富んだハイレベルなステージパフォーマンスで新翔オーディエンスを大いに楽しませてくれました。



透明感溢れる丸石さんのミニコンサート。(ギターは松葉さん)

丸石輝正ミニライブ

一般開放となった二日目は、新宮出身で現在東京を拠点に活躍されているシンガーソングライター・丸石輝正さんの地元凱旋アコースティックミニコンサートでスタート。のびやかでかわらかな歌声に癒されつつ真摯に生き方や愛を歌う「丸石ワールド」に終始魅了されっぱなしでした。アップテンポな曲では丸石さんの声かけで3年生有志数名がステージへ登場、

フロアのオーディエンス盛り上げ役に一役買っていました。また2年小野 司君が飛び入りでこの日も丸石さんとの競演コーナーに参加、(結局小野君は二日連続でコブクロ「赤い糸」を熱唱!) 完璧なデュエットでサポートしていただくなどさすがにプロフェッショナルなステージ構成と展開で、本当にあつという間の全10曲、至福の75分間を過ごすことができました。

ロボットフェス予選会

二日目午前中は「悠久館」にて、本年度の全日本ロボットフェスティバル地区予選会が開かれ、8月の組立講習会を受講した6組の小学生たちがテニスボールとピンポン球を制限時間内に指定された枠内へいくつ運べるかを競う競技にチャレンジしました。県義務教育課・中阪副課長にもオブザ

ーバーとして見守っていただく中、結果、ペットボトルをアレンジしたアームで広角にテニスボールを集める強カマシン「ライジングロボ」でエントリーした神倉小学校5年・坂地悠太君が圧倒的な強さを発揮。予選リーグ・決勝トーナメントを全勝で勝ち上がり優勝、東牟婁地方代表として12月20日、御坊市民体育館で行われる県大会への進出を決めました。

熱戦の後、永石校長より表彰を受ける6人の子どもたち。



テニスボール5個を一気に運ぶという大技炸裂!

食物バザー in 中庭

中庭エリアでは七海祭のメインともいえる、食物バザーが大賑わい。今年のクラス参加は3年生限定でしたが、4クラスとも工夫をこらしたメニューで、オリジナルでユニークな味覚を提供してくれました。最優秀賞は素材のよさを丁寧に引き出した3年1組「さつまスティック&そば玉ちゃん」が受賞。また育友会のみなさまには



3-1 そば玉ちゃん&さつまスティック



3-2 豚汁うどん&フライドポテト



おちゃめに「そば玉ちゃん」をばくつく2-1仲君。Photo by 辻先生



3-3 おかげたまご&やきそばにぎり



3-4 焼きそば&ホットケーキ

お忙しい中、カレーライスで食物バザーに「参戦」していただき、今年はおつというまの100食スピード完売となりました。恒例の新翔マーケットでは、商業科・阪口店長率いる3年生「マーケティング」選択生たちが、おなじみの新翔名物「マグロ缶」をはじめ新鮮野菜、果物等を元気いっぱい販売していました。

展示制作他

1年生を中心に、デジタルモザイクアート、ネット壁画、巨大キャラクターなどがダイナミックに登場する一方、繊細・キュート路線で挑んだクラスもあり対照的なアプローチ

が見られた展示部門。いずれも「チームワーク」の結晶とも言える作品群が体育館、

校舎の壁、教室等を所狭しと華やかに彩りました。力作前の中、最優秀賞は「愛されキャラ」のクラスメイト橋本君を、今が旬な「五郎丸選手」にオーバーラップさせた1年2組のデジタルモザイクアート「五郎丸?」が僅差で受賞。また3位入賞のアトラクション部門1年3組「お化け屋敷」のUSJぶりの盛況ぶりがなんとも特筆物でした。

本館会議室は書道、華道、家庭、写真、美術各文化クラブの熱のこもったハイスタン

ダードな作品群の展示のかたわら、毎年恒例となっている教員展が今年も開催され、美術・島田先生の大作画を筆頭にきわめて格調の高いものから「んっ??」というものまでバラエティ豊かな作品群が並び、新翔らしいなごやかなムードのアート空間となりました。礼法室での茶道部による穏やかで静かな茶会、建設技術部による「川原家」の組立復元展示等も新翔のスクールアイデンティティをしっかりとアピールしていました。



1-1 体育館に登場した1-1制作のゴミ袋製ベイマックス。高さ約5m。

約100体のリトルグリーンメンがお出迎えby1-5。一体一体表情が違います



2-2 プレゼンツ写真アート。ピンクのコントラストでハートが浮かび上がりました。



2-3 教室に登場した2-3制作の風船製ベイマックス。高さ約2.5m。



1-4 井水-瀧仲の師弟愛か時代を超えて復活。1-4感動の超大作ネット壁画・超大型巨人。



1-5



教頭のカメラには写ってはいけないものが...1-3お化け屋敷



1-3